

2024年2月21日  
第443回理事会

2024～2033年度の連系線のマージン（年間・長期）の  
算出及び公表について  
（案）

業務規程第129条第2項及び第3項の規定に基づき、2024～2033年度の連系線の年間及び長期の連系線のマージンの算出値を以下のとおり公表する。

あわせて、業務規程第128条の規定に基づき、連系線毎の実需給断面におけるマージンの設定の考え方を以下のとおり公表する。

1. 年間及び長期の連系線のマージン

別紙1及び2のとおり公表する。

2. 実需給断面におけるマージンの設定の考え方

別紙3のとおり公表する。

3. 公表

2024年3月1日に本機関ウェブサイトにて別紙4のとおり公表する。

以 上

【添付資料】

別紙1：2024・2025年度の連系線のマージン（年間）

別紙2：2026～2033年度の連系線のマージン（長期）

別紙3：マージンの設定の考え方及び確保理由

別紙4：ウェブサイト公表イメージ

# 2024・2025年度の年間マージン（年間）

2024年 3月 1日

# 1. 2024年度 平日

〔単位：MW〕

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート4参照												
	東北⇒北海道	シート4参照												
東北東京間 連系線	東北⇒東京	39~419	39~419	39~419	39~409	39~409	39~489	39~489	39~489	39~419	39~419	39~419	39~419	
	東京⇒東北	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	夜間はOMW
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	夜間はOMW
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0	0	0	0	0	0	0~720	0~859	0	0	0	0~820	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 想定需要の見直し等により、マージンの値は変更となる場合がある (以降、同じ)

本資料において、昼間帯は8時～22時、夜間帯は0時～8時および22時～24時を表す (以降、同じ)

需給調整市場に係るマージンは、エリア外調達量が未定のため設定していない (以降、同じ)

東北東京間連系線のマージンの値の内訳はシート13に記載

# 1. 2024年度 休日

〔単位：MW〕

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート4参照												
	東北⇒北海道	シート4参照												
東北東京間 連系線	東北⇒東京	39~419	39~489	39~419	39~409	39~409	39~489	39~489	39~489	39~419	39~419	39~419	39~419	
	東京⇒東北	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0~620	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 東北東京間連系線のマージンの値の内訳はシート13に記載

# 1. 2024年度 北本連系設備

〔単位：MW〕

方向	4月				5月				6月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	299	319	349	339	339	359	359	359	319	369	349	359
東北⇒北海道	479	489	499	489	489	509	509	509	489	509	499	509
方向	7月				8月				9月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	319	369	339	359	329	379	349	369	319	369	359	359
東北⇒北海道	489	509	499	509	589	609	599	609	589	609	609	609
方向	10月				11月				12月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	309	359	349	349	289	319	329	319	229	249	269	239
東北⇒北海道	579	609	599	599	569	589	589	589	539	549	559	549
方向	1月				2月				3月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	189	179	239	199	209	219	259	219	279	289	309	279
東北⇒北海道	529	519	549	529	529	539	559	539	569	569	579	569

(注) 表中略記は「平:平日、休:休日、P:昼間帯、N:夜間帯」を表す（以降、同じ）

マージンの値の内訳はシート11に記載

## 2. 2024年度 北本連系設備（作業時）

【作業時】

〔単位：MW〕

方向	4月（北本作業、600MW）				4月（北本作業、300MW）				備考
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道→東北	39	39	-	-	39	-	-	-	・北本作業（運用容量600MW）（片極停止） 平P 4/22-25, 8/5-9, 8/16, 9/5-6, 9/9-13, 9/17-19, 10/15-18, 3/21 平N 4/22-26, 8/5-9, 8/16, , 9/5-6, 9/9-13, 9/17-20, 10/15-18, 3/21, 3/24 休P 8/4, 8/10-15, 8/17-18, 9/7-8, 9/14-16, 10/12-14, 3/20, 3/22-23 休N 8/4, 8/10-15, 8/17-18, 9/7-8, 9/14-16, 10/13-14, 3/20, 3/22-23
東北→北海道	479	489	-	-	300	-	-	-	
方向	6月（新北本作業、600MW）				7月（新北本作業、600MW）				・北本作業（運用容量300MW）（双極停止） 平P 4/26, 8/19, 9/20, 10/18, 3/24 休N 10/12
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道→東北	319	369	349	359	319	369	339	359	・新北本作業（運用容量600MW） 平P 6/20-21, 6/24-28, 7/1-5, 7/8-12, 7/16-19, 7/22-26, 7/29-8/2, 8/21-23, 8/26-30, 9/2-4, 9/24-27, 9/30-10/4, 10/7 平N 6/20-21, 6/24-28, 7/1-5, 7/8-12, 7/16-19, 7/22-26, 7/29-8/2, 8/21-23, 8/26-30, 9/2-4, 9/24-27, 9/30-10/4, 10/7 休P 6/22-23, 6/29-30, 7/6-7, 7/13-15, 7/20-21, 7/27-28, 8/24-25, 8/31, 9/1, 9/22-23, 9/28-29, 10/5-6 休N 6/22-23, 6/29-30, 7/6-7, 7/13-15, 7/20-21, 7/27-28, 8/24-25, 8/31, 9/1, 9/22-23, 9/28-29, 10/5-6
東北→北海道	489	509	499	509	489	509	499	509	
方向	8月（新北本作業、600MW）				8月（北本作業、600MW）				・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道→東北	329	379	349	369	39	79	49	69	・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
東北→北海道	589	600	599	600	589	600	599	600	
方向	8月（北本作業、300MW）				9月（新北本作業、600MW）				・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道→東北	39	-	-	-	319	369	359	359	・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
東北→北海道	300	-	-	-	589	600	600	600	
方向	9月（北本作業、600MW）				9月（北本作業、300MW）				・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道→東北	39	69	59	59	39	-	-	-	・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
東北→北海道	589	600	600	600	300	-	-	-	
方向	9月（道南幹線作業、順方向のみ600MW）				10月（北本作業、600MW）				・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道→東北	39	69	-	-	39	59	49	49	・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
東北→北海道	589	609	-	-	579	600	599	599	
方向	10月（新北本作業、600MW）				10月（北本作業、300MW）				・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道→東北	309	359	349	349	39	-	-	49	・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
東北→北海道	579	600	599	599	300	-	-	300	
方向	3月（北本作業、600MW）				3月（北本作業、300MW）				・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道→東北	39	39	39	39	39	-	-	-	・道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 9/4 平N 9/4-5
東北→北海道	569	569	579	569	300	-	-	-	

（注）マージンの値の内訳はシート12に記載

括弧内の数値は作業時の運用容量を示す

## 2. 2025年度 平日

〔単位：MW〕

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート8参照												
	東北⇒北海道	シート8参照												
東北東京間 連系線	東北⇒東京	40~420	40~420	40~420	40~410	40~410	40~420	40~420	40~420	40~420	40~420	40~420	40~420	
	東京⇒東北	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	夜間はOMW
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	夜間はOMW
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0	0	0	0	0	0~710	0~700	0~860	0~860	0	0	0	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 東北東京間連系線のマージンの値の内訳はシート16に記載

## 2. 2025年度 休日

〔単位：MW〕

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート8参照												
	東北⇒北海道	シート8参照												
東北東京間 連系線	東北⇒東京	40~420	40~420	40~420	40~410	40~410	40~420	40~420	40~420	40~420	40~420	40~420	40~420	
	東京⇒東北	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0	0	0	0	0	0~560	0~540	0~790	0~860	0	0	0	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 東北東京間連系線のマージンの値の内訳はシート16に記載



## 2. 2025年度 北本連系設備

〔単位：MW〕

方向	4月				5月				6月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	300	320	350	330	330	360	360	360	320	360	350	360
東北⇒北海道	580	590	600	590	590	610	610	610	590	610	600	610
方向	7月				8月				9月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	320	360	340	360	330	380	350	370	320	370	360	360
東北⇒北海道	590	610	600	610	590	610	600	610	590	610	600	610
方向	10月				11月				12月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	310	360	340	350	290	320	330	320	220	250	270	240
東北⇒北海道	580	610	600	600	570	590	590	590	540	550	560	550
方向	1月				2月				3月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	190	180	240	200	210	220	250	220	280	280	310	280
東北⇒北海道	530	520	550	530	530	540	560	540	570	570	580	570

(注) マージンの値の内訳はシート14に記載

## 2. 2025年度 北本連系設備（作業時）

【作業時】

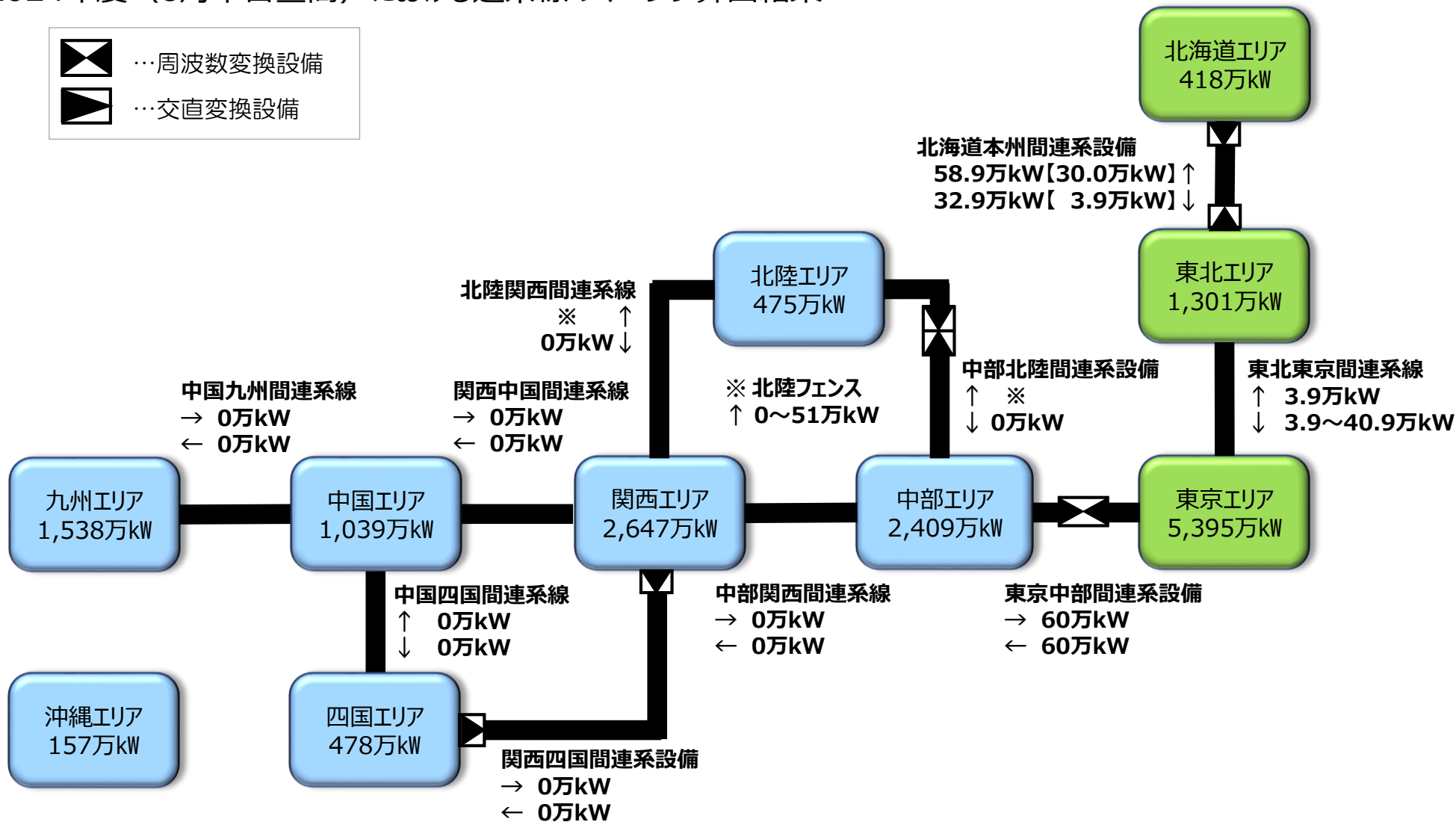
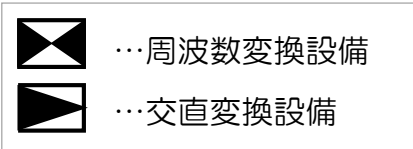
〔単位：MW〕

方向	5月（北本作業、600MW）				5月（北本作業、300MW）				備考
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	40	60	60	60	—	—	60	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>北本作業（運用容量600MW）（片極停止） 平P 5/26-30, 6/2-5, 8/21-22, 8/25-29, 9/1-2, 10/27-31, 11/4-7 平N 5/26-30, 6/2-6, 8/22, 8/25-29, 9/1-3, 10/27-31, 11/4-7 休P 5/24, 5/31, 6/1, 8/23-24, 8/30-31, 10/26, 11/1-3, 11/8 休N 5/24-25, 5/31, 6/1, 6/7, 8/23-24, 8/30-31, 10/26, 11/1-3, 11/8-9</li> </ul>
東北⇒北海道	590	600	600	600	—	—	300	—	
方向	6月（新北本作業、600MW）				6月（北本作業、600MW）				<ul style="list-style-type: none"> <li>北本作業（運用容量300MW）（双極停止） 平P 6/6, 9/3, 平N 8/21 休P 5/25, 6/7, 11/9</li> </ul>
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	320	360	350	360	40	60	50	60	<ul style="list-style-type: none"> <li>新北本作業（運用容量600MW） 平P 6/19-20, 6/23-27, 6/30-7/4, 7/18, 7/22-25, 7/28-31, 8/1, 9/5, 9/8-12, 9/16-19, 9/22, 9/24-25, 10/6-10, 10/14-17, 10/20-24, 平N 6/19-20, 6/23-27, 6/30-7/4, 7/18, 7/22-25, 7/28-31, 8/1, 9/5, 9/8-12, 9/16-19, 9/22, 9/24-25, 10/6-10, 10/14-17, 10/20-24, 休P 6/21-22, 6/28-29, 7/5, 7/19-21, 7/26-27, 8/2-3, 9/6-7, 9/13-15, 9/20-21, 9/23, 10/4-5, 10/11-13, 10/18-19 休N 6/21-22, 6/28-29, 7/5, 7/19-21, 7/26-27, 8/2-3, 9/6-7, 9/13-15, 9/20-21, 9/23, 10/4-5, 10/11-13, 10/18-19</li> </ul>
東北⇒北海道	590	600	600	600	590	600	600	600	
方向	6月（北本作業、300MW）				6月（道南幹線作業、順方向のみ600MW）				<ul style="list-style-type: none"> <li>道南幹線作業（順方向のみ運用容量600MW） 平P 6/9 平N 6/9 休P 6/8 休N 6/8</li> </ul>
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	40	—	50	—	40	60	50	60	
東北⇒北海道	300	—	300	—	590	610	600	610	
方向	7月（新北本作業、600MW）				8月（新北本作業、600MW）				
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	320	360	340	360	330	380	350	370	
東北⇒北海道	590	600	600	600	590	600	600	600	
方向	8月（北本作業、600MW）				8月（北本作業、300MW）				
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	40	80	50	70	—	80	—	—	
東北⇒北海道	590	600	600	600	—	300	—	—	
方向	9月（新北本作業、600MW）				9月（北本作業、600MW）				
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	590	600	600	600	40	70	60	60	
東北⇒北海道	320	370	360	360	590	600	600	600	
方向	9月（北本作業、300MW）				10月（新北本作業、600MW）				
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	40	—	—	—	310	360	340	350	
東北⇒北海道	300	—	—	—	580	600	600	600	
方向	10月（北本作業、600MW）				11月（北本作業、600MW）				
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
北海道⇒東北	40	60	40	50	40	40	40	40	
東北⇒北海道	580	600	600	600	570	590	590	590	
方向	11月（北本作業、300MW）								
	平P	平N	休P	休N					
北海道⇒東北	40	—	—	—					
東北⇒北海道	300	—	—	—					

（注）マージンの値の内訳はシート15に記載

括弧内の数値は作業時の運用容量を示す

## 2024年度（8月平日昼間）における連系線のマージン算出結果



・各エリア内の数値は、2023年度8月の送電端最大需要電力予想（H3）を表す  
 ・【 】内の数値は、北本連系設備作業に伴う運用容量最小時のマージンを示す

# (参考) 北本連系設備の内訳 (2024年度)

(説明)

- ・北海道⇒東北向きは、区分C1に区分B0を加えた値をマージンとする。
- ・東北⇒北海道向きは、区分B1とC1のうち大きい方に区分B0を加えた値をマージンとする。

〔単位：MW〕

方向	区分	4月				5月				6月				7月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	260	280	310	300	300	320	320	320	280	330	310	320	280	330	300	320
	B0	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
		299	319	349	339	339	359	359	359	319	369	349	359	319	369	339	359
東北⇒北海道	B1	440	450	460	450	450	470	470	470	450	470	460	470	450	470	460	470
	C1	440	450	460	450	450	470	470	470	450	470	460	470	450	470	460	470
	B0	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
		479	489	499	489	489	509	509	509	489	509	499	509	489	509	499	509
方向	区分	8月				9月				10月				11月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	290	340	310	330	280	330	320	320	270	320	310	310	250	280	290	280
	B0	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
		329	379	349	369	319	369	359	359	309	359	349	349	289	319	329	319
東北⇒北海道	B1	550	570	560	570	550	570	570	570	540	570	560	560	530	550	550	550
	C1	450	470	460	470	450	470	470	470	440	470	460	460	430	450	450	450
	B0	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
		589	609	599	609	589	609	609	609	579	609	599	599	569	589	589	589
方向	区分	12月				1月				2月				3月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	190	210	230	200	150	140	200	160	170	180	220	180	240	250	270	240
	B0	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
		229	249	269	239	189	179	239	199	209	219	259	219	279	289	309	279
東北⇒北海道	B1	500	510	520	510	490	480	510	490	490	500	520	500	530	530	540	530
	C1	400	410	420	410	390	380	410	390	390	400	420	400	430	430	440	430
	B0	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
		539	549	559	549	529	519	549	529	529	539	559	539	569	569	579	569

# (参考) 北本連系設備の内訳 (2024年度、作業時)

(説明)

・北海道⇒東北向きは、区分C1に区分B0を加えた値をマージンとする。

・東北⇒北海道向きは、区分B1とC1のうち大きい方に区分B0を加えた値をマージンとする。

[単位：MW]

方向	区分	4月 (北本作業、600MW)				4月 (北本作業、300MW)				6月 (新北本作業、600MW)				7月 (新北本作業、600MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	0	0	-	-	0	-	-	-	280	330	310	320	280	330	300	320
	B0	39	39	-	-	39	-	-	-	39	39	39	39	39	39	39	39
		39	39	-	-	39	-	-	-	319	369	349	359	319	369	339	359
東北⇒北海道	B1	440	450	-	-	300	-	-	-	450	470	460	470	450	470	460	470
	C1	140	150	-	-	140	-	-	-	450	470	460	470	450	470	460	470
	B0	39	39	-	-	39	-	-	-	39	39	39	39	39	39	39	39
		479	489	-	-	300	-	-	-	489	509	499	509	489	509	499	509
方向	区分	8月 (新北本作業、600MW)				8月 (北本作業、600MW)				8月 (北本作業、300MW)				9月 (新北本作業、600MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	290	340	310	330	0	40	10	30	0	-	-	-	280	330	320	320
	B0	39	39	39	39	39	39	39	39	39	-	-	-	39	39	39	39
		329	379	349	369	39	79	49	69	39	-	-	-	319	369	359	359
東北⇒北海道	B1	550	570	560	570	550	570	560	570	300	-	-	-	550	570	570	570
	C1	450	470	460	470	150	170	160	170	150	-	-	-	450	470	470	470
	B0	39	39	39	39	39	39	39	39	39	-	-	-	39	39	39	39
		589	600	599	600	589	600	599	600	300	-	-	-	589	600	600	600
方向	区分	9月 (北本作業、600MW)				9月 (北本作業、300MW)				9月 (道南幹作業、順方向のみ600MW)				10月 (新北本作業、600MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	0	30	20	20	0	-	-	-	0	30	-	-	270	320	310	310
	B0	39	39	39	39	39	-	-	-	39	39	-	-	39	39	39	39
		39	69	59	59	39	-	-	-	39	69	-	-	309	359	349	349
東北⇒北海道	B1	550	570	570	570	300	-	-	-	550	570	-	-	540	570	560	560
	C1	150	170	170	170	150	-	-	-	150	170	-	-	440	470	460	460
	B0	39	39	39	39	39	-	-	-	39	39	-	-	39	39	39	39
		589	600	600	600	300	-	-	-	589	609	-	-	579	600	599	599
方向	区分	10月 (北本作業、600MW)				10月 (北本作業、300MW)				3月 (北本作業、600MW)				3月 (北本作業、300MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	0	20	10	10	0	-	-	10	0	0	0	0	0	-	-	-
	B0	39	39	39	39	39	-	-	39	39	39	39	39	39	-	-	-
		39	59	49	49	39	-	-	49	39	39	39	39	39	-	-	-
東北⇒北海道	B1	540	570	560	560	300	-	-	300	530	530	540	530	300	-	-	-
	C1	140	170	160	160	140	-	-	160	130	130	140	130	130	-	-	-
	B0	39	39	39	39	39	-	-	39	39	39	39	39	39	-	-	-
		579	600	599	599	300	-	-	300	569	569	579	569	300	-	-	-

(注) マージンの値が運用容量の値よりも大きくなる場合は、運用容量の値が上限になる

(説明)

- ・東北⇒東京向きは、区分C2にB0を加えた値をマージンとする。
- ・東京⇒東北向きは、区分B0の値をマージンとする。

[単位：MW]

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	C2	0~380	0~450	0~380	0~370	0~370	0~450	0~450	0~450	0~380	0~380	0~380	0~380
	B0	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
	平日	39~419	39~419	39~419	39~409	39~409	39~489	39~489	39~489	39~419	39~419	39~419	39~419
	休日	39~419	39~489	39~419	39~409	39~409	39~489	39~489	39~489	39~419	39~419	39~419	39~419
東京⇒東北	B0	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
	平日・休日	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39

# (参考) 北本連系設備の内訳 (2025年度)

(説明)

- ・北海道⇒東北向きは、区分C1に区分B0を加えた値をマージンとする。
- ・東北⇒北海道向きは、区分B1とC1のうち大きい方に区分B0を加えた値をマージンとする。

[単位：MW]

方向	区分	4月				5月				6月				7月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	260	280	310	290	290	320	320	320	280	320	310	320	280	320	300	320
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
		300	320	350	330	330	360	360	360	320	360	350	360	320	360	340	360
東北⇒北海道	B1	540	550	560	550	550	570	570	570	550	570	560	570	550	570	560	570
	C1	440	450	460	450	450	470	470	470	450	470	460	470	450	470	460	470
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
		580	590	600	590	590	610	610	610	590	610	600	610	590	610	600	610
方向	区分	8月				9月				10月				11月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	290	340	310	330	280	330	320	320	270	320	300	310	250	280	290	280
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
		330	380	350	370	320	370	360	360	310	360	340	350	290	320	330	320
東北⇒北海道	B1	550	570	560	570	550	570	560	570	540	570	560	560	530	550	550	550
	C1	450	470	460	470	450	470	460	470	440	470	460	460	430	450	450	450
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
		590	610	600	610	590	610	600	610	580	610	600	600	570	590	590	590
方向	区分	12月				1月				2月				3月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	180	210	230	200	150	140	200	160	170	180	210	180	240	240	270	240
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
		220	250	270	240	190	180	240	200	210	220	250	220	280	280	310	280
東北⇒北海道	B1	500	510	520	510	490	480	510	490	490	500	520	500	530	530	540	530
	C1	400	410	420	410	390	380	410	390	390	400	420	400	430	430	440	430
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
		540	550	560	550	530	520	550	530	530	540	560	540	570	570	580	570

# (参考) 北本連系設備の内訳 (2025年度、作業時)

(説明)

- ・北海道⇒東北向きは、区分C1に区分B0を加えた値をマージンとする。
- ・東北⇒北海道向きは、区分B1とC1のうち大きい方に区分B0を加えた値をマージンとする。

[単位：MW]

方向	区分	5月(北本作業、600MW)				5月(北本作業、300MW)				6月(新北本作業、600MW)				6月(北本作業、600MW)				6月(北本作業、300MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	0	20	20	20	-	-	20	-	280	320	310	320	0	20	10	20	0	-	10	-
	B0	40	40	40	40	-	-	40	-	40	40	40	40	40	40	40	40	40	-	40	-
東北⇒北海道		40	60	60	60	-	-	60	-	320	360	350	360	40	60	50	60	40	-	50	-
	B1	550	570	570	570	-	-	300	-	550	570	560	570	550	570	560	570	300	-	300	-
	C1	150	170	170	170	-	-	170	-	450	470	460	470	150	170	160	170	150	-	160	-
	B0	40	40	40	40	-	-	40	-	40	40	40	40	40	40	40	40	40	-	40	-
		590	600	600	600	-	-	300	-	590	600	600	600	590	600	600	600	300	-	300	-
方向	区分	6月(道南幹作業、順方向のみ600MW)				7月(新北本作業、600MW)				8月(新北本作業、600MW)				8月(北本作業、600MW)				8月(北本作業、300MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	0	20	10	20	280	320	300	320	290	340	310	330	0	40	10	30	-	40	-	-
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	-	40	-	-
東北⇒北海道		40	60	50	60	320	360	340	360	330	380	350	370	40	80	50	70	-	80	-	-
	B1	550	570	560	570	550	570	560	570	550	570	560	570	550	570	560	570	-	300	-	-
	C1	150	170	160	170	450	470	460	470	450	470	460	470	150	170	160	170	-	170	-	-
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	-	40	-	-
		590	610	600	610	590	600	600	600	590	600	600	600	590	600	600	600	-	300	-	-
方向	区分	9月(新北本作業、600MW)				9月(北本作業、600MW)				9月(北本作業、300MW)				10月(新北本作業、600MW)				10月(北本作業、600MW)			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	280	330	320	320	0	30	20	20	0	-	-	-	270	320	300	310	0	20	0	10
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	-	-	-	40	40	40	40	40	40	40	40
東北⇒北海道		320	370	360	360	40	70	60	60	40	-	-	-	310	360	340	350	40	60	40	50
	B1	550	570	560	570	550	570	560	570	300	-	-	-	540	570	560	560	540	570	560	560
	C1	450	470	460	470	150	170	160	170	150	-	-	-	440	470	460	460	140	170	160	160
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	-	-	-	40	40	40	40	40	40	40	40
		590	600	600	600	590	600	600	600	300	-	-	-	580	600	600	600	580	600	600	600
方向	区分	11月(北本作業、600MW)				11月(北本作業、300MW)															
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N												
北海道⇒東北	C1	0	0	0	0	0	-	-	-												
	B0	40	40	40	40	40	-	-	-												
東北⇒北海道		40	40	40	40	40	-	-	-												
	B1	530	550	550	550	300	-	-	-												
	C1	130	150	150	150	130	-	-	-												
	B0	40	40	40	40	40	-	-	-												
		570	590	590	590	300	-	-	-												

(注) マージンの値が運用容量の値よりも大きくなる場合は、運用容量の値が上限になる



# (参考) 東北東京間連系線の内訳 (2025年度)

(説明)

- ・東北⇒東京向きは、区分C2にB0を加えた値をマージンとする。
- ・東京⇒東北向きは、区分B0の値をマージンとする。

[単位：MW]

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	C2	0~380	0~380	0~380	0~370	0~370	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380	0~380
	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	平日・休日	40~420	40~420	40~420	40~410	40~410	40~420	40~420	40~420	40~420	40~420	40~420	40~420
東京⇒東北	B0	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	平日・休日	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

# 2026~2033年度の長期マージン（長期）

2024年 3月 1日

# 1. 2026~2033年度

〔単位：MW〕

連系線	方向	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	備考
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	140	140	140	140	140	140	140	140	最大需要時の値(1月平日夜間)
		340	340	340	340	340	340	340	340	マージン最大値(8月平日夜間)
	東北⇒北海道	480	480	480	480	480	480	480	480	最大需要時の値(1月平日夜間)
		570	570	570	570	570	570	570	570	マージン最大値(8月平日夜間)
東北東京間 連系線	東北⇒東京	0~450	0~450	0~450	0~450	0~450	0~450	0~450	0~450	
	東京⇒東北	0	0	0	0	0	0	0	0	
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	600	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	0~510	
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0	0	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 想定需要の見直し等により、マージンの値は変更となる場合がある（以降、同じ）

本資料において、昼間帯は8時～22時、夜間帯は0時～8時および22時～24時を表す

需給調整市場に係るマージンは、エリア外調達量が未定のため設定していない（以降、同じ）

表中のマージンは最大需要時の値を示すが、北海道本州間連系設備は、最大需要時以外で空容量が小さくなると想定される断面の値も併せて示す。

マージンの値の内訳はシート3に記載

# (参考) 北本連系設備の内訳 (2026~2033年度)

(説明)

- ・北海道⇒東北向きは、区分C1値をマージンとする。
- ・東北⇒北海道向きは、区分B1とC1のうち大きい値をマージンとする。

最大需要時 〔単位：MW〕

方向	区分	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度
北海道⇒東北	C1	140	140	140	140	140	140	140	140
	平日	140	140	140	140	140	140	140	140
東北⇒北海道	B1	480	480	480	480	480	480	480	480
	C1	380	380	380	380	380	380	380	380
	平日	480	480	480	480	480	480	480	480

マージン最大時 〔単位：MW〕

方向	区分	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度
北海道⇒東北	C1	340	340	340	340	340	340	340	340
	平日	340	340	340	340	340	340	340	340
東北⇒北海道	B1	570	570	570	570	570	570	570	570
	C1	470	470	470	470	470	470	470	470
	平日	570	570	570	570	570	570	570	570

# マージンの設定の考え方及び確保理由

2024年 3月 1日

## 2-3.実需給断面におけるマーシンの確保理由におけるマーシ分区分概要

➤ 各連系線のマーシ分区分概要は下表のとおり

連系線	方向	A0	A1	B0		B1	B2	C1	C2	長期・年間マーシンの設定の考え方 (and:加算,or:大きい方)
		需給調整市場 <sup>※1</sup>	最大ユニット相当 <sup>※2</sup>	風力実証	需給調整市場 <sup>※1</sup>	EPPS等	EPPS	潮流抑制		
北海道本州間 連系設備	順	①		③	①			⑥		⑥ and ③
	逆	①		③	①	④		⑥		(④ or ⑥) and ③
東北東京間 連系線	順	①		③	①				⑦	⑦ and ③
	逆	①		③	①					③
東京中部間 連系設備	順	①			①		⑤			⑤
	逆	①			①	④				④
中部北陸間 連系線	逆	①			①					—
	北陸F (順)	①	②		①					②
北陸関西間 連系線	順	①			①					—
	順	①			①					—
中部関西間 連系線	順	①			①					—
	逆	①			①					—
関西中国間 連系線	順	①			①					—
	逆	①			①					—
関西四国間 連系設備	順	①			①					—
	逆	①			①					—
中国四国間 連系線	順	①	②		①					②
	逆	①			①					—
中国九州間 連系線	順	①			①					—
	逆	①			①					—

※1 需給調整市場で取引する調整力のためのマーシンは、長期・年間断面では設定しない。

※2 原則ゼロとする。但し、電気の供給先となる供給区域の電源のうち出力が最大である単一の電源の最大出力に対して予備力が不足する場合は、不足する電力の値をマーシンとして設定する。

## 2-3-1.実需給断面におけるマーヅンの確保理由 (1)

年間・長期断面におけるマーヅンは、以下の実需給断面におけるマーヅンの設定の考え方にに基づき設定する。

連系線	方向	マーヅンの設定の考え方及び確保理由
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北 (順方向)	<p>北海道本州間連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数上昇を一定値以内に抑制するため。具体的には、次の①、②のうち大きい値とする。</p> <p>① 北海道・本州間電力連系設備の運用容量から、当該連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数の上昇が一定値以内となる最大の潮流の値を差し引いた値。〈C1〉</p> <p>② 新北海道本州間連系設備の運用容量から、当該連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数の上昇が一定値以内となる最大の潮流の値を差し引いた値。〈C1〉</p> <p>また、上記に※1〈B0〉および※2〈A0〉を加える。</p>
	東北⇒北海道 (逆方向)	<p>北海道エリアの電源のうち、出力が最大である単一の電源の最大出力が故障等により失われた場合にも、北海道エリアの周波数低下を一定値以内に抑制するため。なお単一の電源の最大出力は発電計画等を踏まえ設定する。〈B1〉</p> <p>但し、次の①、②のいずれかが、上記の値よりも大きい場合は①、②のうち大きい方の値とする。</p> <p>① 北海道・本州間電力連系設備の運用容量から、当該連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数低下が一定値以内となる潮流の値を差し引いた値。〈C1〉</p> <p>② 新北海道本州間連系設備の運用容量から、当該連系設備が緊急停止した場合に北海道エリアの周波数の低下が一定値以内となる最大の潮流の値を差し引いた値。〈C1〉</p> <p>また、上記に※1〈B0〉および※2〈A0〉を加える。</p>

※1 北海道風力実証試験に係るマーヅンおよび需給調整市場で調達した調整力を使用するマーヅンとして、調整力のエリア外調達のため。具体的には、北海道風力実証試験のために連系する風力発電の予測誤差に対応できる値および一次調整力・二次調整力①②のエリア外約定量。

※2 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、三次調整力①②のエリア外約定量。

〈 〉はマーヅンの区分を示す。シート7参照

## 2-3-1.実需給断面におけるマーシンの確保理由 (2)

連系線	方向	マーシンの設定の考え方及び確保理由
東北東京間 連系線	東北⇒東京 (順方向)	台風や暴風雪等の予見可能なリスクが高まった場合は、電力系統を安定に維持するため、東京エリア内で想定する送電線の故障により複数の電源が脱落した場合に東北エリアから東京エリアに流れる最大の潮流の値〈C2〉 また、上記に※1〈B0〉および※2〈A0〉を加える。
	東京⇒東北 (逆方向)	※1〈B0〉および※2〈A0〉を加える。
東京中部間 連系設備	東京⇒中部 (順方向)	60Hz系統内で送電線の故障により複数の電源が脱落した場合又は最大電源が脱落した場合に、60Hz系統の周波数低下を抑制するため。但し、東京中部間連系設備を介して東北・東京エリアから電力を受給しても、東北・東京エリアの周波数偏差と60Hz系統の周波数偏差が原則逆転しない値とする。〈B2〉 また、上記に※3〈B0〉および※2〈A0〉を加える。
	中部⇒東京 (逆方向)	50Hz系統内で送電線の故障により複数の電源が脱落した場合、又は最大電源が脱落した場合に、東北・東京エリアの周波数低下を抑制するため。但し、東京中部間連系設備を介して60Hz系統から電力を受給しても、60Hz系統の周波数偏差と東北・東京エリアの周波数偏差が原則逆転しない値とする。〈B1〉 また、上記に※3〈B0〉および※2〈A0〉を加える。

※1 北海道風力実証試験に係るマーシンのおよび需給調整市場で調達した調整力を使用するマーシンのとして、調整力のエリア外調達のため。具体的には、北海道風力実証試験のために連系する風力発電の予測誤差に対応できる値および一次調整力・二次調整力①②のエリア外約定量。

※2 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーシンの。具体的には、三次調整力①②のエリア外約定量。

※3 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーシンの。具体的には、一次調整力・二次調整力①②のエリア外約定量。

〈 〉はマーシンの区分を示す。シート7参照



## 2-3-1.実需給断面におけるマーヅンの確保理由 (3)

連系線	方向	マーヅンの設定の考え方及び確保理由
中部北陸間 連系線	北陸⇒中部 (逆方向)	※3 〈B0〉 および※4 〈A0〉
	中部⇒北陸 (順方向)	※1 (最大値は、北陸エリアの融通期待量 (最大電源ユニット相当量) ※2を考慮) 〈A1〉 また、上記に※3※4を加える。
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸 (逆方向)	※3 〈B0〉 および※4 〈A0〉
	北陸⇒関西 (順方向)	※3 〈B0〉 および※4 〈A0〉
中部関西間 連系線	中部⇒関西 (順方向)	※3 〈B0〉 および※4 〈A0〉
	関西⇒中部 (逆方向)	※3 〈B0〉 および※4 〈A0〉

※1 原則ゼロとする。但し、電気の供給先となる供給区域に必要な運転予備力 又は 電気の供給先となる供給区域の電源のうち出力が最大である単一の電源の最大出力に対して予備力が不足する場合は、不足する電力の値をマーヅンとして設定する。

※2 中部北陸間連系設備及び北陸関西間連系線と合わせて確保する。(北陸フェンスにて管理)

※3 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、一次調整力・二次調整力①②のエリア外約定量。

※4 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーヅン。具体的には、三次調整力①②のエリア外約定量。

〈 〉はマーヅンの区分を示す。シート7参照

## 2-3-1.実需給断面におけるマーシンの確保理由 (4)

連系線	方向	マーシンの設定の考え方及び確保理由
関西中国間 連系線	関西⇒中国 (順方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
	中国⇒関西 (逆方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
関西四国間 連系設備	関西⇒四国 (順方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
	四国⇒関西 (逆方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
中国四国間 連系線	中国⇒四国 (順方向)	※1 (最大値は、四国エリアの融通期待量 (最大電源ユニット相当量)) 〈A1〉 また、上記に※2※3を加える。
	四国⇒中国 (逆方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
中国九州間 連系線	中国⇒九州 (順方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉
	九州⇒中国 (逆方向)	※2 〈B0〉 および※3 〈A0〉

※1 原則ゼロとする。但し、電気の供給先となる供給区域に必要な運転予備力 又は 電気の供給先となる供給区域の電源のうち出力が最大である単一の電源の最大出力に対して予備力が不足する場合は、不足する電力の値をマーシンとして設定する。

※2 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーシン。具体的には、一次調整力・二次調整力①②のエリア外約定量。

※3 需給調整市場で調達した調整力を使用するためのマーシン。具体的には、三次調整力①②のエリア外約定量。

〈 〉はマーシンの区分を示す。シート7参照

## 【予備力・調整力に関連したマージン】

内は当該区分に該当する現状のマージン

マージンの分類	通常考慮すべきリスクへの対応		稀頻度リスクへの対応
	エリア外 調達分	エリア外 期待分	エリア外 期待分
<b>「需給バランスに対応したマージン」</b> 需給バランスの確保を目的として、連系線を介して他エリアから電気を受給するために設定するマージン	<b>A 0</b> ・三次調整力① ・三次調整力②	<b>A 1</b> ・最大電源ユニット相当	<b>A 2</b> ・該当なし
<b>「周波数制御に対応したマージン」</b> 電力系統の異常時に電力系統の周波数を安定に保つためまたは周波数制御（電源脱落対応を除く）のために設定するマージン	<b>B 0</b> ・北海道風力実証試験 ・一次調整力※1 ・二次調整力①※2 ・二次調整力②※1	<b>B 1</b> ・東京中部間連系設備（EPPS：逆方向） ・北海道本州間連系設備（緊急時AFC：逆方向）	<b>B 2</b> ・東京中部間連系設備（EPPS：順方向）

※1：2024年度から適用 ※2：2027年度から適用

## 【連系線潮流抑制による安定維持のためのマージン】

マージンの分類	マージンの目的	通常考慮すべきリスクへの対応	稀頻度リスクへの対応
<b>「連系線潮流抑制のためのマージン」</b> 電力系統の異常時に電力系統を安定に保つことを目的として、当該連系線の潮流を予め抑制するために設定するマージン		<b>C 1</b> ・北海道本州間連系設備（潮流抑制）	<b>C 2</b> ・東北東京間連系線（潮流抑制）

ウェブサイト公表イメージ




## 2024～2033 年度の連系線のマージン(年間・長期)、実需給断面におけるマージン設定の考え方及び確保理由について

本機関は、業務規程第 129 条の規定に基づき、マージンの設定の考え方に基づいたマージン検討会の検討を踏まえ、毎年 2 月末までに翌年度以降の長期及び年間における連系線のマージンを算出し、その結果を公表することとしております。

2024～2033 年度の連系線のマージンを算出しましたので、別紙 1(年間)、別紙 2(長期)のとおり公表いたします。

また、同第 128 条の規定に基づき、連系線毎の実需給断面におけるマージンの設定の考え方及び確保理由について、別紙 3 のとおり公表いたします。

### 添付資料

- 別紙 1 [2024・2025 年度の連系線のマージン\(年間\)](#) 
- 別紙 2 [2026～2033 年度の連系線のマージン\(長期\)](#) 
- 別紙 3 [マージンの設定の考え方及び確保理由](#) 

※別紙の添付省略

※年間における日毎の運用容量等詳細は系統情報サービスをご覧ください。(2024 年 3 月 15 日公表)

[系統情報サービス](#) > [地域間連系線情報](#) > [連系線空容量参照](#) > [連系線空容量](#)

### 参考資料

- [マージン検討会の資料](#)

### 関連リンク

- 2024・2025 年度連系線の運用にかかわる平日・休日カレンダーを系統情報サービスに掲載しています。  
[系統情報サービス](#) > [その他情報](#) > [各種情報参照](#) > [各種情報\(カテゴリ:連系線等の運用\)](#)  
> 「2024・2025 年度連系線運用にかかわる平日・休日カレンダーについて」